



Title	大阪大学低温センターだより No.79 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 1992, 79
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21924
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

〈編集後記〉

全号の右手先生と同様、超伝導NMRのユーザーであるだけの、低温については門外漢の編集委員です。編集委員会では全くのエイリアンではほとんどお話しの内容は理解できません。しかし、毎回多くのトピックスと執筆を依頼するべき適当な候補者が次々と提案され、それらに對して快諾の返事が得られるのを見て、学内の低温科学の層の厚さに驚嘆させられています。

全国に先駆けて蛋白研に360MHzの高分解能NMRが導入され、そのヘリウム回収用に液化機の設置が認められたのが12年前のことでした。この液化機はそれ以来、吹田地区の液体ヘリウムの供給に貢献しています。

蛋白研ではいま、このほか3台の500MHzの装置が稼働しています。さらに今年中に多次元NMR測定を目論だ600MHzの装置が導入出来ることになりました。学内には他にも多くの超伝導NMR装置が導入されていて、この分野でのヘリウムの需要が増大しています。さらに生物系では大量の液体窒素の継続的な使用が不可欠となっています。

このように低温科学を理解出来ない寒剤利用者が激増していますが、これらの人々にも低温センターだよりが読まるるようになるのは夢でしょうか。

(小林祐次)

大阪大学低温センターだより 第79号

平成4年7月 発行

編集責任者 柳田 孝司

発行者 大阪大学低温センター

吹田分室 大阪府吹田市山田丘2番1号

電話 (06) 877-5111 内線4105

豊中分室 大阪府豊中市待兼山町1番1号

電話 (06) 844-1151 内線2162

印刷所 阪東印刷紙器工業所

大阪市福島区玉川3丁目6番4号

電話 (06) 443-0936 (代表)

目 次

No. 79

研究ノート

導電性有機物質の合成・物性および応用	工 学 部	城田 靖彦 中野 英之 野間 直樹	1
シリコン表面水素の定量とその成膜過程への影響	工 学 部	内藤 正路 尾浦憲治郎	7
南の島のサンゴ礁	理 学 部	池田すみ子	12
酸化物超伝導体における電子格子相互作用の役割	基礎工学部	白井 正文	16
運 営 組 織			21

表紙説明：南西諸島の地図および沖永良部島の位置。南西諸島の島々はフィリピン海プレートの潜り込みと沖縄トラフの拡大の両方の影響で隆起し、現在のような島になった。ほとんどの島に現成サンゴ礁および第四紀の隆起サンゴ礁が分布している。沖永良部島はこれらのサンゴ礁が典型的に発達する島の一つである。（本文p.12参照）